昭和55年
11月1日号
第178号
発行所　津奈木町役場
編集企画課
印刷所　旭印刷所

つなぎ 町報

人口と世帯
10月1日現在

人口	6,336人
男	3,039人
女	3,297人
世帯	1,701人

B&G地域海洋センターの誘致を待つ総合運動公園（五十五、十、十　町民体育祭）

紺碧の海とスポーツの町、津奈木に
B＆G財団 地域海洋センターを誘致しょう

ことし七月、財団法人B&G財団（会長・笹川良一）から「B&G財団海洋センター建設候補地募集について」と云う文書が送られて来ました。昭和五十一年にも一回建設候補地に関する調査書を提出した経験がありましたので、ことし八月二回目の建設候補地に関する調査書を提出しましたところ、十月七日に第一次の現地調査があり、小原事務局長と施設課担当の鈴木さんが来町、書類にもとづき現地をつぶさに調査、VTRに撮って帰えられました。

その結果第一次の審査に合格して、第二次の現地調査が十一月二十八日専門委員、中北専務理事、設計事務所、事務局より一名計四名の方がたで実施されることになっています。

第二次現地調査の結果がよければ来年三月頃から着工、八月頃には完成と云うことになりそうです。海洋センターとして建設して貰える施設は、艇庫（揚降装置を含む）二〇〇平方メートル一棟、プール（屋外用）二五メートルの六コース一基、体育館（二一〇〇平方メートルで管理事務室、会議室等を含む）一棟です。

これらの施設が建設して貰えると云うことになれば、総合運動公園の中核として充実して来るし、スポーツの町として県の指定を受けたファミリースポーツを初め、スポーツ熱は一層高揚されるでありましょう。

このB&G財団の海洋センター誘致について皆さんの全面的な御協力を切にお願いしてやみません。

財団法人ブルーシー・アンド グリーンランド財団（略称B＆G財団）とは

◎施設の運営はすべて市町村が行ないます。

海洋センターの施設は建設が終ると器材とともにその市町村に無償で貸与され、市町村が自主的に管理運営することになっています。

◎育成士が皆さんのスポーツ活動をお手伝いします。

海洋センターには、センター育成士という指導員が配置されます。あまり体育になじみのない方でも気軽に運動をはじめることができるようお手伝いします。これら育成士はB&G財団で養成しています。

◎平和で住みよい世界を創りましょう。

健全な心と精神は健全なる身体から生れます。健全な身体をつくり、常に心に慈悲の花を咲かせ、豊かで住みよい、平和な町……世界を創る旗手になりましょう。

（B&G笹川会長挨拶より抜萃）

B＆G海洋クラブ 加入申し込み受付中

津奈木町海洋クラブ結成のため小中学校、高校生を問わず広く町民の御参加を得て、ヨットやカヌーを楽しみながら体を鍛える組織づくりを進めています。

海洋クラブにはどなたでも入会できます。年齢、性別、職業などによる資格制限は一切ありません。入会すればB&G財団直営の施設の優先利用や研修体験航海の「若人の船」「少年の船」「児童の船」等の催物への優先参加ができるほか、機関誌やバッジ等の配布を受けられるなど数々の特典があります。

表彰・感謝状

昭和五十五年度町長表彰は、十月十日、町民体育祭に次の方々におくられました。

平国下　福村宏則さん

福村さんは、平国地区の建設委員長として地域の振興に尽力され特に、平国小学校建設、平国福浦地域簡易水道事業、平国川河川改修等大きな事業の推進につくされた。

福浦　上原一男さん

永年福浦区長として地区の発展に努められ、福浦地区公共広場造成にあたっては、建設委員長として事業完成に尽くされた。

内野　田上一智さん

日当　森山シズエさん

民生委員及び児童委員として、校を通じて申込みを受付て戴くことになっています。一般の方は入会金三百円と認印を持参の上、役場企画課へ御申込み下さい。

一応十二月十五日で締切りたいと思いますので、早目に御申込み下さい。皆さんの御協力をお願いいたします。

小中学生の御子弟については学

三十二年（二十九年森山さん）の永い間福祉の向上に尽くされた。

平国下　長浜一郎さん

交通安全協会役員として長年にわたり、交通安全思想の普及に努められた。

倉谷　沢井則夫さん

交通指導員として、交通事故防止に努められた。

小津奈木　岡本安夫さん

昭和五十五年七月十一日、小津奈木公民館前で発生した交通事故に際し冷静な行動で人命救助にあたられた。

日当　津々木健一君（赤小四年）

昭和五十四年十月十三日、堤防から海に落ちた近所の幼稚園児を勇気ある行動で救助した。

尚津々木君は十一月三十一日、東京において、財団法人日本顕彰会（会長笹川良一）の表彰を受けられる事に決定しました。

日添　吉野安馬さん

吉野さんは、ゲートボール審判員として本町ゲートボールの普及にあたられるかたわら、スティックを作って現在既に三百本も会員に無償配布して喜ばれておられます。

津奈木建設共同企業体

平国小学校へ屋外時計を寄贈された。

青北郡4Hクラブ

昭和五十五年七月本町で行なわれた、青年技術交換大会の際総合

11月26日から12月2日まで
秋の全国 火災予防運動

「あなたです！火事を出すのも　防ぐのも」

この運動は、火災多発期を迎えるに当たり国民一人ひとりの防火意識の向上を図り、火災発生防止と火災による人命及び財産の損失を防止することを目的として十一月十二日（水）から十二月二日（火）までの一週間にわたり全国一斉に実施されます。

本町から不幸な火災事故を出さないよう町、消防団が一体となって、この運動を強力に推進いたします。

町民一人一人が自覚し、御協力をお願い致します。

長盤岩に日の丸を

善意の寄贈にたよって、長盤岩の日の丸を掲揚し続けておりますが、今年は雨と風が予想より強く破損がひどく正月以来十枚を要しています。在庫がなくなりました。どなたか御寄附をお願い致します。

担当　総務課

産業祭

十月号町報で津奈木町産業祭を昭和五十六年二月中旬頃実施する旨お知らせしましたが、先般各種団体にお集いいただき協議の結果、産業祭の開催日、場所等が決まりましたので、お知らせしますと共に、皆様方の多数の出品をお願い致します。

◎開催日時　昭和五十六年二月十四日から十五日までの二日間

◎開催場所　旧小学校跡及び幼稚園の一部及び町民広場

◎出品物搬入　二月十三日午前九時から正午迄

◎審査日時　二月十三日午後一時から

◎一般観覧　二月十四日午前九時から二月十五日午後三時まで

◎撤去　二月十五日午後三時から

展示部門としては、農作部門、農機具部門、畜産養蚕部門、森林部門、商工部門、郷土文化部門、民芸及び生活改善部門を予定しておりますが、このほか婦人会及びカラオケ大会も予定しております。

町民皆様の絶大なる御協力をお願い致します。

出品物の数量、個数及び部門別窓の配置等については、協議決定のうえ、次の町報でお知らせいたします。

納税完納部落表彰

昭和五十四年度町税を納期限内に完納された、つぎの部落に感謝状が贈られました。

竹中部落　区長　山崎政信さん
桜戸部落　区長　吉本一さん
新川部落　区長　川崎芳人さん
平国上部落区長　野崎貞行さん
古中尾部落区長　古本勝記さん
内野部落　区長　大湯助保さん
川内部落　区長　久村諭さん
日添部落　区長　上村秀人さん
辻部落　区長　長浜清さん

交差点　譲る勇気に　待つゆとり

昭和54年度決算状況（一般会計）

歳入

歳入総額は1,822,055千円であり、自主財源（図1）は、昭和53年度19.6％であったのが15.6％落ち込みました。

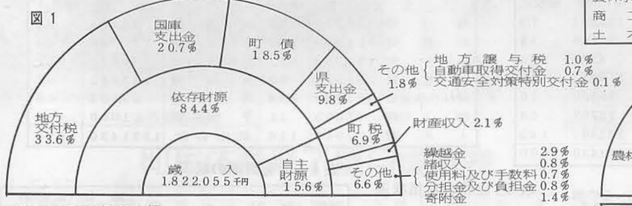
特に町債につきましては、前年度290,100千円から337,700千円と対前年度比16％増と伸びましたが、これは平国小学校、農業就業改善センター、道路建設、漁港海岸保全等の経費につかわれています。

表1. 歳入決算項目別構成表

（単位 千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
町税	126,067	6.9％	県支出金	179,180	9.8
地方譲与税	18,626	1.0	財産収入	37,757	2.1
自動車取得交付金	12,787	0.7	寄附金	26,037	1.4
地方交付税	612,091	33.6	繰入金	－	－
交通安全対策特別交付金	557	0.1	繰越金	53,189	2.9
分担金及び負担金	14,220	0.8	諸収入	14,252	0.8
使用料及び手数料	11,948	0.7	町債	337,700	18.5
国庫支出金	377,644	20.7	歳入合計	1,822,055	100.0

図1

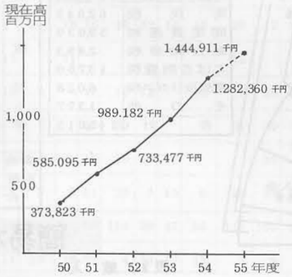


地方債現在高の状況

（単位 千円）

区分	昭和54年度現在高
一般公共事業債	42,604
一般単独事業債	132,079
公営住宅建設事業債	6,365
義務教育施設整備事業債	371,864
災害復旧債	23,257
一般廃棄物処理事業債	43,792
厚生福祉施設整備事業債	40,500
過疎対策事業債	383,560
財政対策債	19,421
財源対策債	131,446
県貸付金	26,630
国の貸付、政府関係機関貸付額	342
公有林整備事業債	60,500
合計	1,282,360

図3　地方債現在高の推移



歳出

各項目及び性質別内訳の歳出は、図2の通りで、1,785,455千円が支払われています。

56.9％を占めました投資的経費の中では、農業就業改善センター、農業基盤総合整備事業、福浜、大泊、合串各漁港整備事業、海岸保全事業、内野線新設改良事業、平国小学校建設事業、津奈木保育園移転建設事業、総合グランド建設事業、災害復旧費が主なものです。

人件費では、職員の給料等211,887千円（前年度197,433千円で7.3％増）が主なもので、その他議員や各種委員の報酬、共済組合負担金、退職金等です。

公債費（借入金の返済）につきましては、図3で示すとおり今後地方債現在高の増加に伴い、徐々に増えつづけるものと考えられます。

表2. 歳出決算項目別構成表

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
議会費	35,142	2.0％	消防費	49,764	2.8％
総務費	156,671	8.8	教育費	357,027	20.0
民生費	284,342	15.9	災害復旧費	30,821	1.7
衛生費	60,978	3.4	公債費	108,949	6.1
農林水産業費	475,003	26.6	諸支出金	52,650	2.9
商工費	8,495	0.5			
土木費	165,612	9.3	歳出合計	1,785,455	100.0

図2

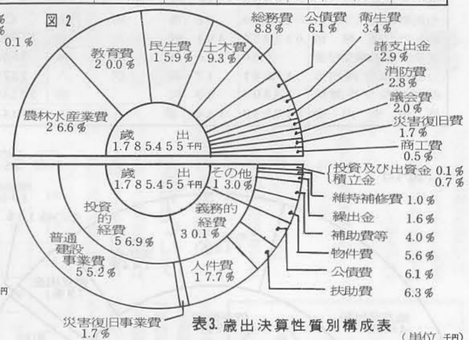


表3. 歳出決算性質別構成表

（単位 千円）

区分		金額	構成比
義務的経費	人件費	315,518	17.7％
	扶助費	113,537	6.3
	公債費	108,949	6.1
	計	538,004	30.1
投資的経費	普通建設事業費	984,517	55.2
	災害復旧事業費	30,821	1.7
	計	1,015,338	56.9
その他	物件費	101,121	5.6
	維持補修費	17,237	1.0
	補助費等	71,099	4.0
	積立金	13,600	0.7
	投資及び出資金	339	0.1
	貸付金	－	－
	繰出金	28,717	1.6
	計	232,113	13.0
歳出合計		1,785,455	100.0

簡易水道事業特別会計

歳入決算額は123,612千円、歳出決算額は117,666千円である。歳出において、簡易水道費が高いのは、平国、福浦地区簡易水道事業を施行したためで、その財源には、国県支出金、繰入金、町債による歳入を充当している。

表4. 昭和54年度津奈木町簡易水道事業特別会計決算書

（単位 千円）

歳入

区分	決算額	構成比	前年度比
簡易水道収入	10,890	8.8	121.6％
分担金及び負担金	406	0.3	50.1
国庫支出金	30,552	24.7	63.7
県支出金	184	0.1	12.9
繰入金	19,960	16.2	66.4
繰越金	5,593	4.5	212.8
寄附金	－	－	比較外
諸収入	327	0.3	488.1
町債	55,700	45.1	84.0
合計	123,612	100.0	77.8

歳出

区分	決算額	構成比	前年度比
総務費	2,228	1.9	221.1％
簡易水道事業費	104,003	88.4	72.4
公債費	11,435	9.7	159.9
合計	117,666	100.0	77.5
実質収支	5,946		
（うち基金繰入	1,200）		

表5. 農業共済事業特別会計

（単位 千円）

歳入 区分	決算額	構成比	歳出 区分	決算額	構成比
1.農作物共済勘定	3,604	24.6％	1.農作物共済勘定	1,480	11.9％
2.蚕繭共済勘定	716	4.9	2.蚕繭共済勘定	716	5.8
3.家畜共済勘定	604	4.1	3.家畜共済勘定	510	4.1
4.業務勘定	9,729	66.4	4.業務勘定	9,729	78.2
合計	14,653	100.0	合計	12,435	100.0
実質収支	2,218				

国民健康保険事業特別会計

歳入決算額は、405,844千円、歳出決算額は372,914千円である。歳入において、自主財源は、133,235千円（32.8％）で残り67.2％は、国庫支出金に依存しております。また健康保険税は、95,750千円、一世帯当り89千円で、全収入23.6％でした。

歳出におきましては、保険給付費が353,985千円で全体の94.9％を占め、一世帯当りの医療費は329千円の給付費となります。

表6. 昭和54年度津奈木町国民健康保険特別会計決算書

歳入

区分	決算額	構成比	前年度比
国民健康保険税	95,750	23.6％	113.5％
使用料及び手数料	1	－	比較外
国庫支出金	272,608	67.2	107.9
県支出金	－	－	比較外
財産収入	1,707	0.4	90.1
繰入金	5,218	1.3	130.5
繰越金	12,359	3.0	105.6
諸収入	18,201	4.5	58.8
合計	405,844	100.0	105.3

歳出

区分	決算額	構成比	前年度比
総務費	16,824	4.5％	100.6％
保険給付費	353,985	94.9	101.3
基金積立金	1,707	0.5	90.1
公債費	31	－	73.8
諸支出金	367	0.1	20.1
合計	372,914	100.0	100.8
実質収支	32,930		
（うち基金繰入	6,600）		

津奈木町の財政事情

津奈木町告示第41号

津奈木町財政事情の公表について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項並びに津奈木町財政事情の公表に関する条例（昭和39年条例第11号）に基づき津奈木町財政事情を次のとおり公表する。

昭和55年11月1日

津奈木町長　六車孝吉

津奈木町財政事情

1. 昭和55年度財政事情（昭和55年9月30日現在）
2. 昭和54年度決算状況

まえがき

昭和54年度の決算状況と、本年度上半期（4月～9月）予算並びに執行状況を公表致しますので、町財政の実態につき、御理解戴き明るく住みよい町づくりに御協力をお願い致します。

一般会計（9月末）

昭和55年度一般会計予算の9月末現在の総額は、歳入歳出それぞれ1,531,430千円であります。歳入では表1.及び図1に示すとおり、町財政の79%を地方交付税や国県支出金等に依存している現況であり、自主財源は残り21%となります。

歳出面では、主なものとして、農村基盤総合整備事業（45,450千円）と明許繰越分（31,007千円）や辻線道路舗装事業、内野線改良並びに舗装事業、矢城林道事業、福浜漁港海岸保全及び大沿漁港局部改良事業などがあり、乏しい財政の中で、住民環境整備に多大の投資を行っております。

表1．歳入

（単位 千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
町税	121,368	7.9	県支出金	120,894	7.9
地方譲与税	16,000	1.0	財産収入	20,160	1.3
自動車取得税交付金	12,000	0.8	寄附金	4,524	0.3
地方交付税	617,916	40.4	繰入金	116,477	7.6
交通安全対策交付金	550	—	繰越金	15,560	1.0
分担金及び負担金	17,541	1.2	諸収入	12,787	0.8
使用料及び手数料	13,304	0.9	町債	222,400	14.5
国庫支出金	219,949	14.4	歳入合計	1,531,430	100.0

表2．歳出

（単位 千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
議会費	39,239	2.6	消防費	58,204	3.8
総務費	214,900	14.0	教育費	227,086	14.8
民生費	178,714	11.7	災害復旧費	40,693	2.7
衛生費	61,572	4.0	公債費	143,012	9.3
農林水産業費	357,969	23.4	諸支出金	13,493	0.9
商工費	17,605	1.1	予備費	1,000	0.1
土木費	177,943	11.6	歳出合計	1,531,430	100.0

〔図1〕

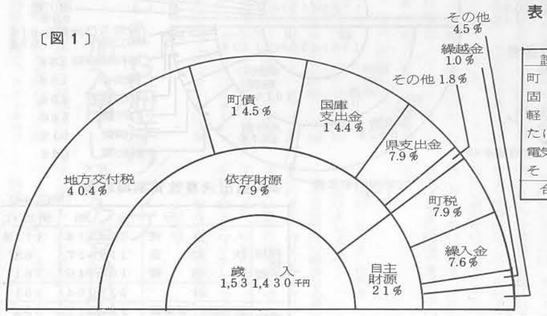


表3．住民の負担状況

（単位 千円）

課目	55年度分
町民税	62,545
固定資産税	59,030
軽自動車税	2,883
たばこ消費税	13,750
電気及びガス税	6,028
その他	1,377
合計	145,613

表4．公有財産の状況

分類	区分	土地	建物（延面積） 木造	建物（延面積） 非木造
行政財産	本庁舎	932	810	—
	公民館	598	614	—
	学校	57,527	1,152	10,111
	幼稚園	1,471	518	—
	保育園	3,166	—	560
	公営住宅	3,029	460	720
	果樹指導所	13,253	116	45
	消防施設	防火水槽43基	火の見櫓	8基
	その他	144,852	2,246	213
普通財産	山林	3,331,600	—	—
	その他	278,979	—	—
	合計	3,835,407	5,916	11,649

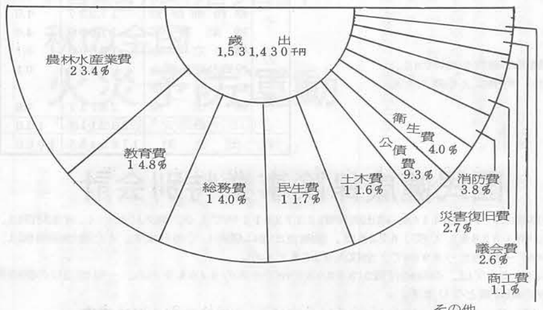


表5．山林（立木）

土地の権利の区分	面積（㎡）	立木の推計蓄積量（㎥）
直営林	3,136,350	30,075
分収林	195,250	3,129
官行造林	—	—
合計	3,331,600	33,204

表6．基金

区分	金額（千円）	区分	金額（千円）
財政調整基金（一般）	153,299	土地開発基金	5,982
仝上（水道）	4,324	国民年金印紙購入基金	2,500
診療費支払基金（国保）	40,368	奨学基金	5,896
退職手当基金	2,647	合計	215,016

表7．有価証券

区分	金額（千円）
株券	145
社債券	570
合計	715

表8．出資による権利

区分	金額（千円）
出資金	955
出捐金	2,387
合計	3,342

簡易水道特別会計

表9．歳入

（単位 千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
簡易水道収入	16,491	54.7%	繰越金	4,746	15.7%
分担金及び負担金	800	2.7	寄附金	1	—
国庫支出金	1	—	諸収入	106	0.4
県支出金	1	—	町債	0	—
繰入金	8,000	26.5	合計	30,146	100.0

表10．歳出

（単位 千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
総務費	2,069	6.9%	予備費	111	0.3%
簡易水道事業費	12,467	41.4			
公債費	15,499	51.4	合計	30,146	100.0

国民健康保険事業特別会計

表11．歳入

（単位 千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
国民健康保険税	96,900	22.1%	繰入金	4,001	0.9%
使用料及び手数料	4	—	繰越金	26,330	6.0
国庫支出金	293,200	66.8	諸収入	16,364	3.7
県支出金	1	—			
財産収入	2,000	0.5	合計	438,800	100.0

表12．歳出

（単位 千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
総務費	16,770	3.8%	諸支出金	8,799	2.0%
保険給付費	399,700	91.1	予備費	11,030	2.5
基金積立金	2,000	0.5			
公債費	501	0.1	合計	438,800	100.0

農業共済事業特別会計

表13

（単位 千円）

区分	歳入	歳出
農作物共済勘定	4,725	4,725
蚕繭共済勘定	357	357
家畜共済勘定	2,773	2,773
園芸施設共済勘定	396	396
業務勘定	10,995	10,995
合計	19,246	19,246

第三十三回町民体育祭

陸上競技は平国下 総合優勝は染竹

去る十月十日新しく出来た津奈木町総合グランドにおいて、第三十三回町民体育祭の最後をかざる陸上競技大会が行われました。

津奈木小学校の鼓笛隊によるドラムマーチの軽やかなリズムにのって入場行進が始まり、町民の約七割、四六〇〇人が集まり三十三種目の競技が行われた。また中食時間には、アトラクションとして水俣の少林寺拳法の演舞の披露並びに浜崎チームによる楽しい出し物があり、最高の盛り上がりを見せ、盛会のうちに終了しました。

なお、結果は次のとおりです。

優勝：平国下　2位：上下門　3位：日添　4位：染竹　5位：中尾　6位：福浦

の順でした。

又町民体育祭七種目による総合優勝は、2位小津奈木に十一点の差をつけ染竹チームが堂々の優勝を果しました。（以下3位：平国下　4位：上下門　5位：大泊　6位：日当

の順でした。

町民体育祭七種目の成績は、次表のとおりです。

なお昭和五十五年度体育功労者及び体力つくり優良団体、優秀選手としての受賞者は次のとおりです。（敬称略）

○体育功労者　田村正　柳迫則行

○体力つくり優良団体表彰　上下門老友会

○優秀選手賞　岡本和久　野崎武寿　塚本尋子

▲浜崎応援団

町民体育祭7種目成績表

	種目	竹中	染竹	浜崎	松戸	町中	新川	古川	大泊	中尾	古中尾	倉谷	内野	上門下	川内	福浦	平国上	下国	日当	日添	小津奈木
1	ソフトボール（35才以上男子）	16	16	19			12	12	5	12	12	5	12	20		16	12	16	18	12	18
2	バレーボール（女子）	5	19	12		12	12	5	16		12	18	16	12	12	16	18	20	12	16	12
3	水泳（学生、一般）	19	18	20		17		15	16	13		11						12			15
4	野球（学生、一般）	12	16	12	12	4	12	12	16	16	4	4	12	18	12		20	18	16	12	19
5	競舟（一般）	17	27	18	21	21	27	21	30				23	23				27	29	29	27
6	卓球（一般）		16	12	20	18		19	12	12			16	18	12				16	8	16
7	陸上（一般）	9	17	7	2	1	9	12	13	16	5	5	11	19	3	15	6	20	14	18	11
	総合計	78	129	100	55	73	72	96	108	69	33	43	90	110	39	47	56	113	105	95	118
	順位	11	1	7	16	12	13	8	5	14	20	18	10	4	19	17	15	3	6	9	2

保健

乳幼児検診

乳幼児検診を次のとおり実施します。

一、日時および場所
昭和五十五年十一月十七日
午後一時三十分から午後三時まで
津奈木公民館

二、対象児
昭和五十四年十月一日から昭和五十五年三月三十一日までの出生児

※母子手帳を必ず御持参ください。

募集

○能力再開発訓練生募集（56年1月期）

荒尾総合高等職業訓練校では、職業転換を必要とする人に技能を与えて、能力を開発し再就職を容易にするため、能力再開発訓練を実施します。

訓練科目　建設機械運転科
定員　三十名
期間　六ヶ月
受付期間　十一月三十日迄
入校希望者は、公共職業安定所で御相談下さい。

勤労感謝の日

定期税務相談の利用について

熊本国税局八代税務相談室では、毎月第二金曜日を定期税務相談日として、水俣市商工会議所において、税金についてのいろいろな相談をお受けしております。この定期税務相談は、遠隔地のため税務署や税務相談室を利用できない方のために行っているもので、もちろん、無料です。

また、匿名でも結構ですから、どなたでもお気軽にご利用下さい。八代市花園町八代税務署別室　熊本国税局八代税務相談室（0965-35-1171）

本年度の所得税第二期分の納期は十二月一日まで

本年の所得税の予定納税第二期分の納期限は十二月一日です。

第二期分の予定納税額がある方には、税務署から通知をさしあげてありますので、納期限内に納めていただくようお願いします。

ところで、今年になってお店をやめたり、休んだりして、昨年に比べ納税額が大幅に減る見込みの方や、火事や風水害などで財産損害を受けた方などは、税務署に「予定納税額の減額申請」をしてください。第二期分の税金が減ったり、ときには納めなくて済むことがあります。提出期限は、十一月十日です。詳しいことは、税務署又は税務相談室にお尋ねください。

税務署だより

税を知る週間

11月11日(火)～17日(月)

私たちの生活の中で税金は、あらゆるところに使われています。
税について、みんなで考えてみましょう。

11月9日（日曜日）
芦北・水俣郡市
陸上競技大会

●場所
水俣市ひばりヶ丘グランド
●時間……午前9時30分開会

本町選手団は優勝旗を「この津奈木町に」と毎日練習に励んでおります。
町民の皆様のご声援をよろしくお願い致します。

年賀状の差し出し準備を

国保だより

あなたは国保をよくご存知ですか？

①〈国民皆保険〉
みんな健康であっても、病気やケガはある日突然に、私たちを襲うことが多いものです。そんなとき、お金がなくてお医者さんにかかれないということになったら大変です。そこで国民はだれも、どこかの健康保険にはいらなければならないことになっています。このことを「国民皆保険」といいます。

国民健康保険（国保）は、勤め先の健康保険に加入することの出来ない方が加入する保険です。

②〈国保はたすけ合いの保険〉
お医者さんにかかった時、あなたが支払うのは費用の三割だけで残りの七割は国保から支払われています。その費用はみんながいざという時に備えて出し合った国保税と国の補助金で賄われています。国保は、みんなでたすけ合ってあなたの健康を守る保険なのです。

③〈加入届の遅れはあなた自身の損失です〉
加入届の提出を怠るとあなた自身が困ることになります。病気になっても保険は効きませんので、時には何十万円もの医療費をすべて自分で支払わなければなりません。しかも国保税は加入届を出していなかった期間の分についても支払うことになります。

また、世帯主の方は、自分の世帯に属する被保険者の資格に異動のあったとき（他の保険にはいったとき、他の保険をやめたとき、他の市町村へ転出するとき、又転入して来たとき、子どもが生まれたとき、家族の方が死亡したとき等）は十四日以内に届け出をしなければなりません。

④〈国保をよく理解して大切に〉
津奈木町では、皆さんに国保のことをよく理解してもらうために広報活動をして町報等でお伝え致します。あなたの理解と協力がなければ国保は運営できません。

あなたも町報をよく読んで国保への理解を深め、あなたの体と同様に皆の国保を大切にして下さい。

ところで、皆さんの健康をお助けするため、保健婦を採用しました。近いうちに各家庭を訪問し、色々と相談に応じたり指導も致します。皆さんのご協力をお願い致します。

○大切にあなたの体と皆の国保

○見直そう自分の体と皆の国保

○国保で守るみんなの健康

ご寄付御礼

町民福祉に役だてて

浜崎　岩長　親夫氏
倉谷　沢井　助夫氏
新川　船場満洲生氏

右の三氏より、去る十月三日津奈木町改善センターに於て行われた戦没者慰霊祭余興に於て三味線演奏をされました。その謝礼金を津奈木町社会福祉協議会へ町民福祉に役だててください。と寄附下さいました。町民福祉の為に有効に利用致したいと思います。心より感謝申し上げます。

ご芳志御礼

部落　世帯主　故人
内野　松原美代子　兼義
日添　吉野　梅吉　政彦
大泊　柳迫　猛志　キヨ
日当　田島　末信　ムメノ
新川　船場アキノ　初義
倉谷　坂本　勝則　政吉
福浦　福田　壮　ジモ

右の方々から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封ご寄附下さいました。この寄附金は町民福祉のため有効に利用させていただきます。謹んで御礼申し上げますとともに故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

昭和55年
11月号
〔臨時号〕
発行所　津奈木町役場
編　集　農林水産課
印刷所　旭印刷所

町報 つなぎ

産業祭

二月十四日 二月十五日

水田利用再編対策によりメロン、トマト、大豆、麦等を推進しながら、農用地高度利用のため、農作業の受委託、中核農家の育成等推進していますが、本町の基幹作物である甘夏が急落し農家経済に大きな打撃と不安を与えております。本年度産業祭を実施するにあたり、これを機会に生産性の高い優良系統品種への更新或いは年内採取可能なネーブル、伊予柑を導入する等、本町の地域性を生かした品種構成の再編を行ない更には品質向上とコスト低下を真剣に検討し経営改善による生産安定を目指した意義ある産業祭になるよう、町民皆様の御賛同と多数の出品をお願い致します。

殊に本年は津奈木町に商工会が結成され、地元商店による商品展示即売のほかビールの銘柄あて、酒の試飲会、カラオケ大会等も予定され、賞品も準備しておいます。

このほか予定されている各部門別の主なものを紹介します。

畜産森林部門

畜産用品及び写真、発酵堆肥の展示、杉檜苗木の品種別展示及び山林作業用機具機材の展示。

このほか町民広場に於ては、子豚レース、牛乳の早呑み会（五百cc入り牛乳をストロで早く呑む。カラオケ大会の審査の時間を利用して行なう）を予定しています。

水産部門

不知火海で獲れた魚の乾物加工品、養殖ハマチ、タイ等鮮魚の展示、真珠加工品等の展示即売を予定しています。

果樹部門

本町で生産された温州、甘夏、ネーブル、八朔、文旦、雑柑類が展示されるほか、各地の優良品種、大谷・宮内伊与柑、次の国甘夏、紅甘夏、オキツ二〇号及び二一号、鶴見系、永田系、女島系甘夏、森田、堤ネーブル、土佐文旦、河内晩柑等が展示される予定（注文等受付）

クラシのコーナー

台所と直結したふるさとの味を手づくりによって展示即売のほか生活改善用品、手芸（編物、刺繍、洋和裁等）等を展示いたします。

一般農作養蚕部門

本町で生産された穀類、野菜、根菜類のほか減反に関連した資料及び養蚕関係の資料展示

青年部門

本町の後継者（青年団、4Hクラブ）の創意による作品等展示（青年男女の作品はすべてここに展示します）

郷土文化部門

本町の文化財的資料展示のほか老友会員が丹精込めて製作された陶芸品の展示及び即売それに一般から出品された盆栽、書、絵、写真等はここに展示します。

バザー

前回好評を得ましたので今回も婦人会、女子青年団により開催される予定です。

尚町民広場では、肥育牛の品評会と子供向の子豚のレースを予定するほか船員用品及びプラスチック船、農機具、樹芸関係の展示、地元商店による商品展示即売、それにカラオケ大会と牛乳の早呑み大会が予定されています。

二月十四日、十五日は御家族お揃いで是非御鑑賞御観覧頂きますようお願い致します。

開催要領

◎出品物搬入

二月十三日午前九時から正午迄受付及び陳列

◎審査　二月十三日午後一時から

◎表彰　二月十四日午前八時半から町民広場にて

◎一般観覧

二月十四日午前九時から二月十五日午後三時まで

◎主な行事

○十四日午前八時半から入賞者の表彰（町民広場）

正午頃ビールの銘柄あて及び酒の試飲会（バザー横の商工館予定）

午後一時肥育牛品評会（町民広場）

午後　時半から、カラオケ子供大会（幼稚園玄関前）

午後　時から、大人カラオケ大会（幼稚園玄関前）

午後二時半頃　牛乳早呑み大会（カラオケ大会の審査時間を利用して行なう）

◎撤去　二月十五日午後三時から

◎出品物の数量等

○果樹関係

甘夏新甘夏　十個　伊与柑　十個　ネーブル　十五個　文旦類　大型　三個　中型　五個　小型　十個　温州　五キロ　ポンカン　三キロ　その他雑かん類　十個から十五個

○一般作物　玄米及び麦類　五合　大豆　小豆　ピーナツそれぞれ三合　大根　五本　人参ゴボウ　十本　からいも、里いも、やまいも　二株　やまいもの自然もの三本　花野菜　レタス　白菜　カンラン類　三個　ショウガ　三株　ホウレン草　十株　ネギ　二十株

○森林関係

杉檜苗木　十本　生椎茸　五百グラム　乾燥椎茸　三百グラム　椎茸の生えた原木　三本　木炭　五キログラム

○水産関係

煮干いわし　五百グラム　シロゴ生　一キロ　乾燥シロゴ　二百グラム　生えび　一キロ　乾燥えび　一サゲ（二〇匹）

老人会の作品及び民芸品、クラシのコーナーの手芸品等は適宜出品して下さい。

○注意事項

1. 出品物は、二月十三日午前九時から正午迄、各自それぞれの会場に持参下さい。
2. 出品物には必ず部落名及び出品者氏名を添えて受付に出して下さい。
3. 受付の際売約してよいものは売渡金額を示して下さい。
4. 出品物の撤去は、二月十五日午後三時からです。出品者はそのつもりで撤去にも御協力下さい。

〝ニワトリ五羽運動〟 ヤ　ニワトリ　ギあつせん

産業祭を記念し、一戸五羽運動を催し昔ながらのニワトリの遊ぶ風景をよみがえらせましょう。

左記によりニワトリ、ヤギをあつせんします。おって各戸あて申込書を配布します。

記

一、品種名　バブコックB三六〇（採卵種カック色卵）
二、月　令　八十日
三、価　格　七〇〇円程度（相場による）
四、配布月　産業祭当日
五、その他　ヤギについては、ヤギの出産期が三、四月になりますので、御希望があれば産業祭以降にあっせんします。

カラオケ大会 出場申込について

二月十四日午後一時半から
カラオケ子供大会（町民広場）
二月十五日午後一時から
カラオケ大人大会（町民広場）

を幼稚園の正面玄関前において催しますので、出場御希望の方は

○部落名　○出場者氏名及び電話番号　○歌の題名

を昭和五十六年二月九日まで農林水産課（電話三）一一番）か津奈木町商工会事務局（電話三五八〇番）まで申込んで下さい。

なお産業祭について不明の点は農林水産課へお尋ね下さい。

この写真は前回産業祭分掲載